

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和6年7月2日（火）午前10時～11時45分

場 所：リサイクルプラザ

出席者：松永会長、田中副会長、小林副会長、栗田会計、藤井会計、豊田監査、明山さん、
小林（眞）さん、渡辺さん、山本さん、大木さん（非会員）、事務局（山代・金野）

1 報告と振り返り

～岡～

- ・前回に続いて、クヌギの剪定を行った。高所での作業だった。クヌギの剪定をやっている農家さんも来てくれた。作業はもう少し続けて行う必要があるかもしれない。
- ・近隣のクレームも収まってきている。
- ・みどり公園課に、残っている太い木を切ってほしいと伝えたが、切りたくないとのこと。根っこを残したいのかもしれない。
- ・クヌギの幼木も出ている。まばらに植えて斜面を保護した方がいいかと思っている。
- ・上の方にある木の柵が腐って倒れているのと、池のフェンスが壊れかけているので、なんとかしたい。それもみどり公園課には伝えてある。

～宮戸～

- ・当日は雨で中止。
- ・前日に梅の実の収穫だけ行った。木に生っていた実を3kgほど収穫し、近隣に配った。落ちていた実は2kgほど収穫し、ジャムにした。
- ・草刈りは原沢さんが来てやってくれた。
- ・ヤマユリが3本出てきた。次の作業日まではもたないかもしれないので、よければ見てほしい。
- ・貸農園が売却されると聞いた。業者が測量に来ていた。もし住宅が出来ると植物園を作っても日陰になってしまう？
計画が正式に発表されたら市民会議として意見出せるかもしれない。
- ・7月は草刈り機を全面に入れようかと思っている。草刈り機は修理に出しているが、今週中に引き取りに行く予定。（事務局対応）

～根岸台～

- ・22日と25日の2回活動した。
- ・22日は会員8人、非会員1人、土曜日なので小中学生8人参加。
草に埋もれた階段の除草と手入れ作業、隣の畑に出たマテバシイ（樹齢30～40年）の幹を伐採、小中学生の生物観察の見守り等行った。小中学生は喜んでいた。
- ・25日は会員10人とみどり公園課2人。敷地の見回り、池の跡の湿地の草刈り、斜面の草刈り、葛のつる切り等行った。ウバユリやフジバカマなどあった。
草イチゴを保護しながら草刈りし、水路の行き止まりまでやった。区切りがついた。
暗渠水路に草木が飛び出している。道路整備課の管轄とのことなので、みどり公園課から道路整備課へ切ってほしい旨伝えてもらう。

2 その他

○6月22日（土）根岸台での活動への問い合わせについて

- ・子どもの声がずっとうるさかった等の苦情のメールが来た。謝罪と活動についてのこちらの考えを返信した。その後の返信はまだない。
- ・土曜日の活動は、せっかく子ども達が来られるようになったので、注意してやっていきたい。ルールを決めすぎて子ども達を押さえつけたりしないように、色々な考えの人がいることの理解と気遣いができるようにアドバイスしていく。
- ・近隣への配慮は必要。子どもが参加するイベントは年に何回もないので、事前に近隣に周知しておけば違ってくると思う。

○7/14、黒目川川まつりについて

- ・開催に向けて、7日に草刈りを行う。草がだいぶ伸びている。東洋大学の学生さんの調査によると、膝より高い草があると人は来ない。
- ・市民会議はタイヤボートとカヌー体験、事務局は水質調査を担当する。
- ・当日は8時集合で15時頃までの予定。
- ・昨年の黒目川での死亡事故を受けて、水難対策として子ども達が川の安全な遊びをアピールする予定。夏に川で安全に遊んでもらうため、今年は夏休み前の開催となった。
- ・特定外来生物についての啓発も行う。昨年から、アメリカザリガニやアカミミガメなどは飼うことはできるが野外に放すことは法律で禁止されたこと、最後まで責任を持って飼うことなど伝えていく。
- ・ザリガニを初め生物全般の供養も行う予定。

○ガイドラインの作成について

- ・緑地の活動について、目的や目標が定まっていない。木が伸びてきたから切る、などその場しのぎの活動になってしまっている。10年20年先を見据えて何をやっていくか、森づくりのガイドラインを作るべきか？
- ・森の役割も場所によって違う。岡は景勝地、根岸台を宮戸は里山として管理されていた。
- ・全員で話したいが集まるのは難しい。視察や講演会も行いたい、どれだけできるか？
- ・横浜市の森づくりガイドラインが参考になるので、ガイドライン作成の話が出たことと合わせて横浜市のガイドラインを見てもらうよう会員にメールをする。
- ・将来像について共通認識を持ち、目指す目標を持ってやっていきたい。

次回運営会議は8月6日（火）10：00から リサイクルプラザにて